

先生のための海の学び旅

教員研修

防災の視点からの海洋教育を考える

～復興のトッランナー女川を舞台にして～

海をテーマに考えてみませんか？

地域に根ざした特色ある教育、特色ある学校づくりについて、

開催日時

2017年2月11日(土)～2月12日(日)

集合

仙台駅東口ペDESTリアンデッキ 午前10時10分

開催場所

宮城県女川町

参加費

18,000円

(宿泊、食事・懇親会費、バス代、保険代、消費税込み)

対象

全国の小・中・特別支援学校、教育委員会等の教員

定員

20名(応募多数の場合は抽選となります)

募集の締切り

2017年1月16日(月)

問合せ先

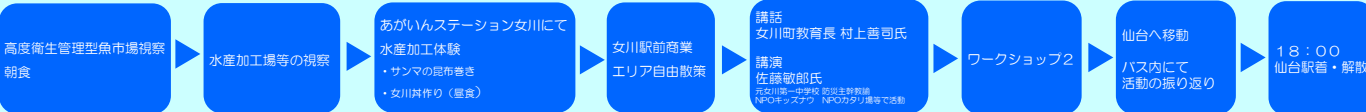
日本財団 海洋チーム
担当：川路、青木、勝保
電話：03-6229-5152 FAX：03-6229-5150



1日目



2日目



ナビゲーター

宮城県教育大学附属施設教育未来づくり総合研究センター

小田隆史 特任准教授

福島県いわき市出身。外務省専門調査員、米カリフォルニア大学バークレー校フルブライト研究員、日本学術振興会特別研究員、お茶の水女子大学シミュレーション科学教育研究センター助教を経て2013年4月から現職。地理学を専門とし、都市問題、まちづくり、コミュニティ防災等を研究。その間、アジア工科大学院(タイ)防災減災管理学術院にて客員准教授。現在、東北地理学会幹事長、東北工科大学院修士・博士(環境科学)、防災士、専門地域調査士。



講師

東京大学海洋アライアンス海洋教育促進研究センター

日置光久 特任教授

専門は、理科教育カリキュラム論、環境教育/自然体験論、認知メディア論。広島大学大学院博士課程後期単位取得退学。広島大学助手、広島女子大学助教授を経て、文部省教科調査官、国立教育政策研究所教育課程調査官、文部科学省視学官等を歴任。日本学術会議特任連携委員。公益社団法人シェアリングネイチャー協会理事/インストラクター。「自然」と「科学」を両輪とした「日本型理科教育」を提唱している。

